



今月のトピック

川衣集落、「豊かなむらづくり全国表彰事業」

東北ブロック表彰式で農林水産大臣賞を受賞!

10月29日、仙台市内で開かれた平成13年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」東北ブロック表彰式において福島県代表として参加した館岩村「川衣集落」が、農林水産大臣賞を受賞しました。

表彰式には芳賀勉区長、橘正則農事組合長が出席し、東北農政局長をはじめ約40名の出席のもと行われました。受賞地区を代表して芳賀勉区長が謝辞を述べ「この度の受賞を糧として、なお一層魅力ある地域づくりを目指し地区住民一丸となって取り組んでいきたい」と決意を述べました。

ほかの地区もすばらしい活動内容でしたが、審査報告では「川衣集落は小さな集落にもかか

わらず、集落が団結して高齢者ががんばって暮らしている。これからの山間地区の模範になる」と、東北ブロックトップ賞受賞の理由が報告されました。

また、表彰式翌日には、福島県庁、福島民友新聞社、南会津農林事務所を訪れ「普段から何気なくやってきたことが評価され驚いた。さらに頑張っていきたい」と受賞報告を行いました。

(地域農林企画室)



受賞おめでとうございます

「南会津・森林野(もりの)会」設立される

10月22日、南会津地方の森林づくりを進めようとする関係者ら約40名が参加して、森林ボランティアの活動推進組織となる「南会津・森林野(もりの)会」の設立総会が開催されました。



今後の活躍が期待されます

発起人代表である南会津地方林業協会長の室井英彦氏

から「恵まれた森林を育み、自然を守りながら、健全な姿で後世に引き継いで行くために協力をお願いする。」とのあいさつがあり、続いて中村紘夫南会津農林事務所長から祝辞が述べられました。

議事では、会則を定め、役員に室井会長を選んだほか、活動の核となる幹事長に加藤雅之県木青協田島支部長、他幹事会のメンバーを選出しました。

会では「緑と水の源泉地域」としての森林づくりや地域づくりを目指して、森林ボランティア・フィールド情報や指導者情報の収集・提供、イベントの開催、等を実施していきます。

県内で現在展開されている「うつくしま森林づくり県民運動」の一環としても、会の今後の活動が期待されています。

(森林林業部)

「南会津・森林野(もりの)会」設立される

「家族経営協定」とは、農業経営の合理化や快適な生活を営むことを目的に、家族間・夫婦間の話し合いで約束事を取り決め、立会人を立て協定を結ぶことを言います。

南会津郡内で最初の「家族経営協定」が、南郷村の農家で結ばれました。

10月19日に木伏集落の五十嵐千代吉さんご一家、宮床集落の馬場徹さんの家族は、関係者の立ち会いのもと、南郷村役場で「家族経営協定」の締結式を行いました。

五十嵐さんと馬場さんは、南郷トマトを経営

の柱に、稲作を組み合わせた複合経営の専業農家です。

協定書では、家族の目指す共通目的や分担等が取り決められています。

締結後、2家族からは決意も新たに「よりよい家族関係を築き上げ、足腰の強い経営を目指したい」と力強い挨拶がありました。(農業普及部)



ますます結束して活躍します

学校教職員が間伐体験

近年、森林を活用した総合学習が教育の現場に取り入れられるようになりますが、当農林事務所においても、森林環境教育の導入を促進するため、先生と一緒に森林体験を行っています。

今年度は、田島町、館岩村及び伊南村の小・中学校の先生3名が、森林体験活動に参加しました。体験は2日間行い、1日目は10月3日、田島町高野の県営林で、間伐体験が行われました。植林されてから40年経ったスギのうち曲がったものや枯れたものなど、材の価値が低いスギを中心に、ノコギリで伐倒していきました。午後になってからは、チェーンソーを使って丸太

の輪切りに挑戦し、初めは機械の扱い方にとまどっていましたが、すぐに慣れ、輪切りにしたスギを教え子のために持ち帰った先生もいました。

2日目は10月18日田島町針生の町有林内で行われ、スギ林の除伐や枝打ち作業に汗をかいていました。

(森林林業部)



腰が重要!

南会津再発見

「六地藏」と「橋場のぼんば」

国道352号線で伊南村から檜枝岐村に入ると、道端にたたずむ6体の石像「六地藏」があります。

檜枝岐村は村全体面積の98%が山林で、平均気温9℃、平均積雪が2m近い県下有数の豪雪地帯です。農業は高冷地ということもあって、お米が実らず耕地が少ないため、そばと野菜の栽培が主でした。

昔は冷害に悩まされ、とくに凶作の年には餓死者も出るほどでした。ゆえに働けぬ赤ん坊が「まびき」されるという悲惨な行為もありました。



6体の石像「六地藏」

「六地藏」はその霊を弔い、母の嘆きを慰めるために建立されたものです。

今ではほとんどの観光客が足を止め、手を合わせています。

六地藏をすぎて国道を

少し進むと、右側に檜枝岐歌舞伎を上演する鎮守神社へつづく参道があります。その参道中程に鎮座する「橋場のぼんば」の石仏は、子供を水難から守ってくれる水神様です。

最近では縁結び、

縁切りの神様として信仰され、悪縁を切りたいときは新しいハサミを、良縁で切りたくないときは錆びて切れないハサミを供えるそうです。また「橋場のぼんば」の頭にお椀のフタをかぶせると、どんな願いでもかなえてくれるといわれています。

檜枝岐村にお出での際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

檜枝岐村産業建設課



縁結び、縁切りの神様「橋場のぼんば」

お知らせ

「育てよう! 認定農業者 進めよう! 農地流動化」

～11月は「強化月間」です～

県・市町村及び関係団体は、11月を福島県農業経営基盤強化促進月間として、認定農業者の確保・育成と認定農業者への農用地の利用集積を推進するため、集中的に活動を展開します。

これは、地域の農業の担い手を確保するとともに、安定した経営体が地域農業の大部分を担うことを目標にしているものです。

強化月間では、各集落に2名以上の認定農業者の育成確保と、農地の利用権設定率の1%アップをめざしています。

(農業振興部)

本計画は、南会津のうりんニュース第36号で紹介しました「うつくしま農業・農村振興プラン21」に基づく南会津地方計画と同時期に策定されたものですが、うつくしま農業・農村振興プラン21は、農業・農村振興の全般に言及し、特に、ソフト面が重点的に記述されております。

一方、平成13年度を初年度とする向こう10年間の農業農村整備事業の実施方向を示した「うつくしま農村整備プラン21」は、農業生産に必要な基盤の整備と農村生活環境の改善を促進することを目的として、ハード面から重点的に記述されておりますので、本コーナーでは「うつくしま農村整備プラン21南会津地方計画」についてご紹介します。

県全体計画の施策体系と推進方向は、次の5方針から構成されております。

- ①生産基盤の整備・・・生産基盤の整備を行い、農業の担い手を支援します。
- ②居住空間の整備・・・居住空間の整備を行い、快適な生活を育みます。
- ③ふれあい空間の整備・・・ふれあい空間の整備を行い、元氣な山里をつくります。
- ④やすらぎ空間の整備・・・やすらぎ空間の整備を行い、水とみどりを守ります。
- ⑤防災保全施設の整備・・・防災・保全施設の整備の整備を行い、災害から県民の生活を守ります。

今回は、当管内の重点施策である③の「ふれあい空間の整備」の推進方策についてお知らせします。

当管内は、耕地面積が総面積の約3%と少なく、約93%が山林で占めることから豊かな自然を活用した施策が求められております。このため、整備プランのキャッチフレーズは「南会津 豊かな自然と向き合い進める農業・農村づくり」といたしました。

具体的には、「地域特性にあった中山間地域の整備」として、中山間地域総合整備事業などのメニュー事業等を有効かつ計画的に推進するため、関係町村はもとより地域住民参加型で計画を練りあげ、農村地域の利便性や活性化が図られるよう整備し、管内の町村がそれぞれに有する地域特性を踏まえ、都市との交流促進など、中山間地域の豊かな自然を実体験できるグリーン・ツーリズムなどの受け皿づくりに努めることとしております。厳しい財政事情にありますが、引き続き効率的な計画とコスト縮減等に配慮し、事業の実施に努めてまいります。

なお、ご意見、ご要望等がありましたら、南会津農林事務所農村整備部までお寄せ下さい。

(農村整備部)

お知らせ

会津地鶏で作ろう、南会津の定番料理

Vol.1 会津地鶏、南郷トマトに出会う。

「会津地鶏味おこしレシピ集」から選定された、南会津特産の「南郷トマト」を活用した5作品について、実際に料理を出すことが想定される飲食店、ホテル、旅館、民宿等の関係者を対象に下記のとおり開催します。会津地鶏の料理に興味のある方々は奮ってご参加ください。

記

- 1 日時 平成13年11月29日(木) 10:30~14:30
- 2 場所 南会津郡只見町 只見総合開発センター
- 3 定番候補料理

平成13年10月24日(水)に開催された選考会にて南会津の定番料理候補として選考された料理は次のとおりです。(当日は、レシピ提供者に料理していただきます。)

料理名	町村名	レシピ提供者氏名
会津地鶏のピザ	伊南村	佐野 キヨイさん
コックプロパンザル	会津坂下町	千葉 親子さん
会津地鶏のキャセロール	館岩村	堀江 哲郎さん
会津地鶏のローストわさびの香り春の装い	下郷町	山野辺 宏さん
会津地鶏のトマト煮	田島町	湯田 きよ子さん

(五十音順)

【お問い合わせ先】
農業振興部振興課
 TEL: 0241(62)5253
 FAX: 0241(62)5256

第3回県内ソフトボール大会

農業土木技術者を中心にして組織する耕友会主催による第3回ソフトボール大会が、快晴のもと二本松市城山グラウンドに、全県下の農地関係機関の約200名が参集し、熱い戦いを繰り広げました。

試合は4ブロックに分け、それぞれ3チームでリーグ戦を行い、勝者が午後からの決勝トーナメントに、駒を進めます。

本庁関係課が1チーム、特設事務所がある農林事務所が2チーム、その他が1チーム計12チームが参戦し、3チーム編成の4コートを使用し、試合を進めました。

南会津チームは県南農林事務所と会津農林事務所BでCリーグに属し、それぞれ2試合を行いました。試合は時間制(50分)で制限選手特になしで、始めは怪我がないよう和気あいあいのうちに進むのですが、後半になると勝負にこだわり、アウトセーフに一喜一憂し、ベンチからは激しい野次が飛び交い、けわしい興奮状態になるのです。

第1試合は、会津農林事務所Bチームと対戦し、大会屈指の好投手のスピードボールに苦しめられましたが、打者一巡してから打ち始め、最終回に逆転しサヨナラ勝ちを納めました。その勢いを持続して、県南農林事務所と対戦しましたが、主力選手が2名欠けていたこともあって途中で息切れし、小差で惜敗。残念ながら決勝リーグには進めませんでした。

午後の決勝トーナメントは、相双農林事務所B(特設事務所連合)が、昨年度の覇者県中農林事務所を破って、優勝致しました。我が南会津農林事務所は昨年度の成績まで届かず涙を飲みましたが、来年はぜひ決勝戦に駒を進めようと意気込み、グラウンドを後にしました。

この農村整備部の県内ソフトボール大会は、以前軟式野球で競い合っていましたが、より一層交流を深め、大勢の参加者を得るために、平成9年よりソフトボールに切り替えたところです。会員の中にはスピード感がない、迫力がないと不平を言う方も多数いましたが、県内の会員が一同に集まる機会は本大会だけであり、日々の業務や身辺状況等、公私にわたって会話を取り交わし、澄み切った秋空のもと珍プレー続出の内に、愉快的な1日を過ごしました。今後もスポーツ活動も含めた交流の場である本大会を、大事に育てていきたいと存じます。

農村整備部長 瓶子敏行



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①市民開放特別講義：「地鶏 一卵と肉、そして栄養特性」	11月28日(水)	会津大学短期大学部
②農業機械研修：トラクターの日常点検と主要作業機の取扱い	12月3日(月) ～5日(水)	農業短期大学校
③農産加工研修：凍み餅文化の伝承とこれからの流通と販売	12月6日(木)	農業短期大学校
④県民農業講座：家庭でできる花作りと フラワーアレンジメント	12月20日(木)	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先：会津大学短期大学部 TEL 0242-37-2301
 南会津農林事務所 地域農林企画室 TEL 0241-62-5866
 農業普及部 TEL 0241-62-5262



あて先 〒967-0004
 福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1
 南会津農林事務所 地域農林企画室
 TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256
 E-mail m-nourin@akina.ne.jp
 ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>
 みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真
 湯ノ岐川の紅葉(館岩村)



古紙配合率50%再生紙を使用しています
 この広報紙は古紙配合率50%再生紙と
 SOY(大豆油)インキを使用しています。

